

# 広島市立安佐市民病院広報紙

—第38号—

〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目1-1

TEL : 082-815-5211 (代)

<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>



## 新副院長の『抱負』

広島市立安佐市民病院

副院長 土手 慶五



平成25年4月に副院長に就任した土手慶五です。当院へカテーテル治療医として着任して21年の歳月が流れました。昭和卒業の内科医はみな卒業され、私を含め二名となり、大変新陳代謝の早い病院と思います。

さて、副院長としての私の担う役割は大きく4つあります。救急・医師確保、チーム医療の推進、地域包括ケア、中山間地診療支援です。

### 【救急・医師確保】

当院の年間12,000人の入院患者のうちの3分の1を救急が占めます。救命救急センターと同等以上の実績がありますが、救急医の確保は事実上不可能です。一方、救急患者に後期高齢者が占める割合は40%のぼり、複雑な多数の疾病を抱えた高齢者に対応するには総合内科的能力が必須で、当院では地域密着型の総合内科医を迎えることができません。内科医が専門的になりすぎた面もあり、総合内科の設立充実が当院救急の課題です。

### 【チーム医療の推進】

有能な医師を集める事は若い医師を呼び集めることにつながり、さらに有能な医師が集まるといい良いサイクルが回ります。しかし、4番でピッチャーの医師といえども万能ではありません。それを補完する仕組

みがチーム医療です。さらに、現在の医療安全、患者さんの満足度に対して要求されるレベルはとも医療者一人では対応できません。現在、当院には12のチームがあり、病院を支える大きな基盤に成長しています。

### 【地域包括ケア】

多職種連携は病院内だけでは完結しない時代となりました。地域包括ケアの登場です。2025年問題です。それまでに、当院は急増する高齢者に対する社会福祉統合ネットワークを作り上げる必要があります。急増する高齢者を広島市民病院一つで対応する事は到底不可能です。市町、区役所が市民にこのネットワークをわかりやすく広報できるように、大病院は積極的に行政・介護を支援しなければなりません。

### 【中山間地医療支援】

現在、私は中山間地の病院に外来支援をさせていただいています。中山間地医療は交通手段の弱体化によって受益困難となりつつあり、プラチナ世代の医師が地域に出向いての診療は住民の安心という点で重要です。地域での当直の問題も深刻で、当直体制の支援は自ずと若い医師に頼らざるをえません。その若い労働力に伝えるためには技術の伝承、豊富な症例によって共に利益のある関係を築くことが重要で、ふるさと枠を魅力的に教育する能力が大病院の医師に求められるのです。

以上4点について抱負を述べました。この時代を全力で乗り切りたいと思います。

## 【病院機能評価】



### 安佐市民病院の理念と基本方針

#### 理念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

#### 基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得 にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。

# 診療科紹介

## 形成外科



形成外科医師  
新保 慶輔

形成外科は眼科、耳鼻科、泌尿器科などの身体のある場所（部位や臓器）別の診療科ではありませんので、

- ・ 形成外科という診療科をまだ聞き慣れない方
- ・ 聞いたことはあるけれど、どんな病気を治すのか、良く分からないという方が多いと思います。

日本に形成外科が登場してから既に半世紀以上を過ぎているにもかかわらず、一般の皆様の中には、「形成外科って何？」と問われる方もいらっしゃいます。

形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に

対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

わかりやすく言えば、形成外科では、体表のさまざまな病変（外傷、変形、腫瘍、潰瘍、先天性奇形等）の治療を行っています。なかなかイメージがわからないと思いますが、当院では以下のような治療を行っています。

### 〈症例 1 眼瞼下垂症〉

まぶたが重く開けにくくなり、視野が狭くなったことで受診されました。



Before



After

### 〈症例 2 耳の先天異常（絞扼耳）〉

メガネやマスクがかけられないことで受診されました。



Before



After

- ◆ ほくろ、粉瘤、あざなどの皮膚  
良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍
- ◆ 顔面骨骨折、顔面外傷（すり傷、切り傷）、手足の外傷
- ◆ 床ずれ（褥瘡）、難治性潰瘍
- ◆ 熱傷（やけど）、傷跡のケロイドやひきつれ
- ◆ 耳の瘻孔・変形、でべそ、唇裂  
口蓋裂、手足の先天異
- ◆ その他（眼瞼下垂、逆さまつげ、わきが、乳房再建、顔面神経麻痺後の変形、等）

## 初期臨床研修医 8 名の紹介

平成16年度から新臨床研修医制度が必修化され、9年が経過しました。当院は必修化当初から初期臨床研修医を採用しており、これまでに45名の研修医が初期臨床研修を修了し、20名が3年目も当院の医師として残りました。特に今年度は6名中5名が当院の嘱託医として残留し、45名中37名が外科、麻酔科、産婦人科、小児科といった特に医師不足とされる科にも進んで広島県内で活躍しています。

この4月1日からは新臨床研修医制度となって10回生となる初期臨床研修医8名が当院に赴任致しました。いずれも元気で明るい優秀な若者ばかりです。



臨床研修プログラム責任者  
(内科、総合診療科、循環器内科)  
加藤 雅也



あかはね みずほ  
赤羽 瑞穂 (広島大出身)

赤い羽と書いてアカハネです。因島出身、大学では剣道をしていました。毎日が勉強になり、充実した研修生活です。早く一人前になれるように一生懸命日々過ごしています！よろしくお願いします。



たむら ようすけ  
田村 陽介 (大分大出身)

大学を卒業し、地元広島に帰ってきました。趣味はランニングで、大学時代にはフルマラソンに挑戦しました。まだまだ半人前ですが、一生懸命頑張ります！



かぎもと あつし  
鍵本 篤志 (広島大出身)

大学時代はバドミントン部に所属していました。スポーツが好きで、特にサンフレッチェが好きです。今はゴルフを始めたいです。どんくさくてご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



はこだ けいし  
箱田 啓志 (広島大出身)

学時代は柔道部で汗を流していました。研修医になっても汗水たらして働く所存です。精一杯頑張りますので、ご指導よろしくお願いします。



たけもと はじめ  
竹本 創 (福岡大出身)

高校のときは登山部だったので、周囲を山に囲まれたこの可部の町が大好きです。2年間、気力と体力で楽しみながら頑張ります!!同期からは「はじめちゃん」って呼ばれているので、気兼ねなく下の名前で呼んでください。



はらだ たくみ  
原田 拓光 (佐賀大出身)

大学ではサッカー部に所属していました。広島市西区出身です。趣味は釣りと最近始めたゴルフです。まだまだ未熟者ですが、みなさんどうぞよろしくお願いします。



かわむら なおみ  
河村 尚美 (広島大出身)

大学時代は、HALS という救急サークルに所属していました。サークルでは、市民の方々や学生に蘇生の輪を広げる活動をしています。実際の現場に出てみて、まだまだ自分の未熟さを実感する毎日ですが、学ぶことがとても多く、充実した日々を送っています。これからも、自分にできることを少しずつ増やしながら、頑張っていこうと思っています。どうぞよろしくお願いします。



はば りゅうた  
馬場 隆太 (広島大出身)

実家は高陽地区で安佐市民病院の近くにずっといました。初期研修医として頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



# ブラックジャック セミナー開催



外科部長  
大森 一郎

2013年3月23日(土)、安佐市民病院にて広島市内の高校生を対象に『ブラックジャックセミナー』が開催されました。本セミナーは「医学をより身近なものとして感じてほしい」という思いから、当院にて平成23年より年1回開催しており、今回で3回目です。参加者は実際の手術器具やシミュレーターを使用して、手術を疑似体験することができます。

多幾山院長の「私はベンケーシーに憧れて医者になった」という挨拶で会が始まり、各班に分かれた未来の外科医たちは、普段見慣れない道具に触れつつ手術を行いました。

手術縫合、最新医療機器（超音波メス）、内視鏡トレーニング体験、手術シミュレーター体験、自動吻合機・縫合器体験で構成された各ブースには安佐市民病院の外科医を配置し、参加者がセミナーの名称にもなっているブラックジャックのような名外科医になれるよう指導にあたりました。

当初、緊張していた高校生も時間の経過とともに徐々に手術の迫真さに引き込まれ、セミナーを楽しんでいるようでした。また手術室体験では、偶然にも実際の緊急手術が隣の部屋で行われている緊張感の中で手術室に入ってもらい、その臨場感を体験してもらうことができました。

会の最後に参加者は参加証書を受け取り、無事、本セミナーが終了しました。ハードであるからと医学生からは敬遠されがちな外科ですが、実際には充実感、達成感のある仕事です。参加者の中には、「将来、外科医になりたい」と言ってくれた高校生もいました。



# 紫外線の皮膚への影響について



皮膚科部長  
永田 敬二

## 1. 紫外線による健康被害

### ① 急性のもの（日焼け、紫外線性角膜炎など）

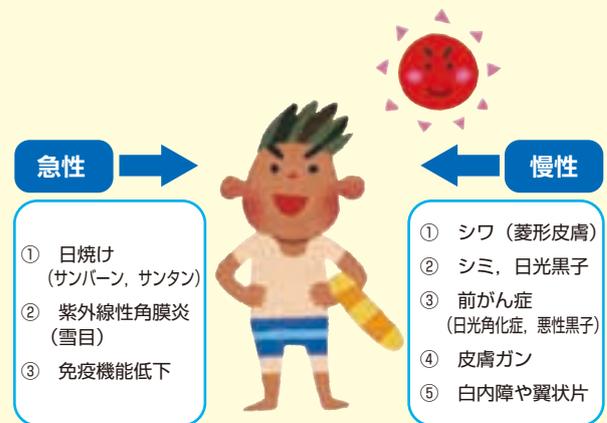
日光に当たってから数時間後から赤くひりひりとした炎症が起こり、8時間から24時間でピークとなり、2～3日で消えていきますが、ひどいときには水ぶくれとなって皮がむけます。なるべく早く冷やしたり、皮膚科を受診して外用剤を使用すると症状が軽減されます。また、数日後より色素細胞が刺激を受け、メラニンをたくさん作るため、黒い色素沈着を生じます。

### ② 慢性のもの

長年の影響により、皮膚のシミやしわを生じることがあり、これらは加齢による変化とは異なり、適切な紫外線防御により防ぐことができます。また、白内障も紫外線の影響があるといわれています。

### ③ 皮膚腫瘍

紫外線に関連して発生する皮膚腫瘍には、良性のもの（脂漏性角化症など）と悪性のもの（皮膚がん）があります。UVBの暴露と関連することが知られている皮膚がんとしては、前がん状態である日光角化症や有棘細胞癌があります。日光角化症の段階で治療すれば生命に関わることはありませんが、治療しないと悪性化し、転移をすれば生命に関わります。日本人では年間人口10万人あたり3～5人で、男女ともに増加傾向が見られます。

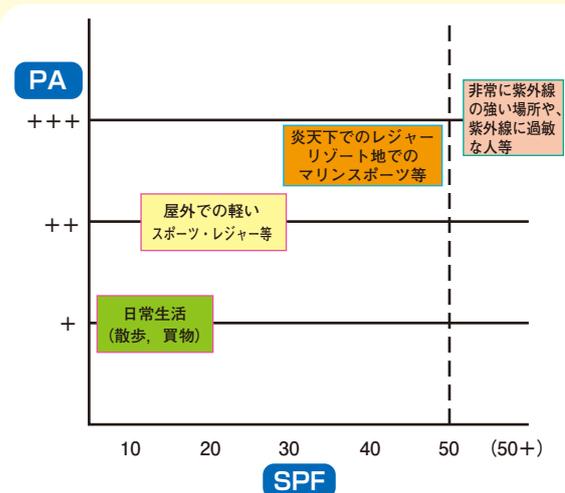


図：紫外線が関係していると考えられる病気

## 2. 紫外線対策

長期的な健康への悪影響を予防するためには、紫外線の強い時間帯を避け、なるべく日陰を使用すること、日傘、帽子、衣服などを使用することが必要です。また、日焼け止めには、いずれも紫外線防止剤が含まれており、紫外線吸収剤と紫外線散乱剤に分けられます。皮膚の敏感な方用の日焼け止めは紫外線散乱剤のみを含んでいることが多く、「紫外線吸収剤無配合」とか「紫外線吸収剤フリー」あるいは「ノンケミカルサンスクリーン」といった表示がされています。

日焼け止めは、いつ何をするかによって選びます。日常の洗濯物を干したり買い物をしたりするためならば、それほど数値の高くない日焼け止めでも十分です。一方紫外線の強い季節に、かなり長時間戸外に出る場合には高い効果を持つものを、汗をたくさんかいたり水に入る場合には耐水性の高いものを使いましょう。



図：使用シーンに合わせた日焼け止めの選び方（SPAとPA）

SPF：UVBを防ぐ効果を表す数値  
（UVBは屋外での日焼けの主な原因となる）  
PA：UVAを防ぐ効果を表す数値  
（UVAは窓ガラスも透過し、しわやたるみの原因となる）

## 夏の★おすすめメニュー★

季節のお勧めメニュー第3弾のテーマは「夏」♪  
 厳しい暑さが続くと食欲も衰え、体力も消耗します。  
 そこで野菜や肉を使って食欲を刺激し、スタミナを回復させる焼きギョーザを紹介します。



焼きギョーザ 材料(4人分)			
ギョーザの皮	24枚	砂糖	小さじ1
豚ひき肉	160g	塩	小さじ1/3
キャベツ	150g	酒	小さじ1
(塩)	小さじ1/3	醤油	大さじ1
ニラ	50g	ごま油	小さじ1
シイタケ	2枚	コショウ	少々
生姜	少々	サラダ油	大さじ1
ニンニク	少々		

- ### 作り方
- ①キャベツは粗みじん切りにし、塩小さじ1/3を振って5分ほど置き、しんなりしたら水気を絞ります。
  - ②ニラとシイタケはみじん切り、生姜とニンニクはすり下ろします。
  - ③ボウルに豚ひき肉と①と②、調味料A(砂糖、塩、酒、醤油、ごま油、コショウ)を加え混ぜます。
  - ④24等分した③をギョーザの皮で包み、フライパンに並べます。
  - ⑤フライパンにギョーザの半分の高さまで熱湯を加え、強火で3分蒸し焼きにします。
  - ⑥ふたをすらし、⑤から湯を少し残して切り、サラダ油大さじ1を加えて蓋をして強火で焼きます。 1人分【250kcal/塩分1.5g】

●メモ●  
 豚肉に多いビタミンB1は、糖質を効率よくエネルギーに変えてくれます。

焼く前に湯を入れるのが、美味しく焼くコツ♪



●栄養室● 管理栄養士 中佐庸子

## 献血にご協力をお願いします

6月4日、恒例の献血車がやってきました。

輸血用血液は特に夏場に不足しがちとなり、400mL献血の採血がおこなわれました。

献血事業には地域のボランティアの皆さんにもご協力を



いただいております。今回献血に参加していただいた方には卵が配られました。

安佐市民病院には毎年1月と6月に献血車が来ます。病院職員や関係者のみならず地域の皆さまにも献血へのご参加をよろしくお願いたします。



## えんの下の力もち

### 警備員さんの紹介



当院では、病院敷地内外の秩序維持・病院業務の円滑な運営を図るため、警備その他の業務については、警備業者(イズミテクノ(株))に委託しています。守衛さんと言った方が分かりやすいかもしれません。

守衛さんの仕事には「施設警備」、「駐車場管理」、「患者誘導」等があります。さて、具体的に見てみましょう。

#### ○施設警備

病院内外の防災・防犯面での安全確保に努めるため、24時間体制で守衛室に常駐し、施設巡視、モニターによる監視、夜間外来者・救急患者等来院時の対応を行います。

#### ○駐車場管理・患者誘導

病院来院者等の安全な誘導、病院内外の車両の交通整理、他目的・無断駐車等発見時の退去指示、緊急車輛・外来車輛等の誘導を行います。

以上のように、守衛さんは病院内外の様々な場面で役割を持っています。また、病院は毎日不特定多数の人・車が入り出すため、想定外のトラブルが発生しやすい状況にあると言えるでしょう。

守衛室のリーダーである小川さんは次のように語ります。「警備業務の大きな目的は安全確保ですが、業務を行っていく中で来院される皆さまの安心も必要になります。小さなことかもしれませんが、明るい挨拶をすることから来院者さまの安心・信頼をつかみとれるようにがんばります。今後も、皆さまのご意見やご指導等を業務の中で活かしていきます。」



## 神経内科およびリハビリ科の外来診察室の移動について

神経内科、リハビリ科の外来診察室が院内改装工事のため一時的な仮診察室として他の場所に移動になっています。

移動場所は北館裏側の駐車場脇にある別棟の1階です。図のような案内に沿ってお進み下さい。

尚、ご不明の点は最寄りの職員にお尋ね下さい。

